

## 授業科目

## 地域作業療法学II

担当教員名 能村 友紀、永井 洋一、貝淵 正人	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

## 授業の概要

身体障害・精神障害・発達障害（広義）・高齢者における地域リハビリテーションを説明します。  
各領域にてPBLで展開します。  
他職種連携と作業療法士の役割を考えます。

## 授業の目的

地域リハビリテーションの理念を理解し、地域作業療法の役割、多職種協業のあり方について習得する

## 学習目標

1. 地域で暮らしながら作業療法の対象となる人や障害に関心を持ち、真摯かつ積極的な態度で学ぶことができる
2. 地域リハビリテーションの理念、役割、システムの概要を述べることができる
3. 地域において連携する他職種の業務と役割が説明できる
4. 地域作業療法に関連する諸制度と作業療法との関わりについて説明できる
5. 地域作業療法が実施される施設の種類の役割を説明できる
6. 各施設における作業療法士の業務内容と役割について説明できる
7. 高齢者の介護予防における作業療法について、事例を通して検討することができる。
8. 子どもの特別支援教育や統合保育における作業療法について、事例を通して検討することができる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	発達における地域連携（1）発達障がい児の事例を通して、保育園・幼稚園や学校と連携・協働の必要な場面を考える。	講義・グループ討議	永井 洋一
2	発達における地域連携（2）地域における連携・協働の中における作業療法士の役割をグループで検討し、発表する。	講義	永井 洋一
3	精神障害における地域連携（1）	講義	港 美雪 他
4	精神障害における地域連携（2）	講義	港 美雪 他
5	身体障害における地域リハビリテーション	講義	貝淵 正人
6	身体障害における地域連携	講義	貝淵 正人
7	高齢期障害における地域連携（1）	講義・グループ討議	能村 友紀 他
8	高齢期障害における地域連携（2）	講義・グループ討議	能村 友紀 他

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	配布資料					

## 評価方法

知識理解の確認として小テストを実施する。また、レポート提出期日厳守、授業態度を重んじる。授業態度、レポート、小テスト、定期試験の結果から判断する。

## 履修上の留意点

1. 地域ケア体系は激変期にある。情報をインターネット・新聞・TVから常に収集すること。

2. 保健・医療・福祉は在宅ケアへと大きくシフトしている。地域における作業療法指導・援助の実態を見学することを勧める。
3. 精神障害領域は集中講義で実施する予定。
4. 高齢期障害領域は集中講義で実施する予定。

#### オフィスアワー・連絡先

貝淵：火・木曜日14時～17時 kaifuti@nuhw.ac.jp

永井：原則として火、水、木曜日の12：30～13：10 研究室：Q307 nagai@nuhw.ac.jp

能村：水曜日10時～13時 nomura@nuhw.ac.jp